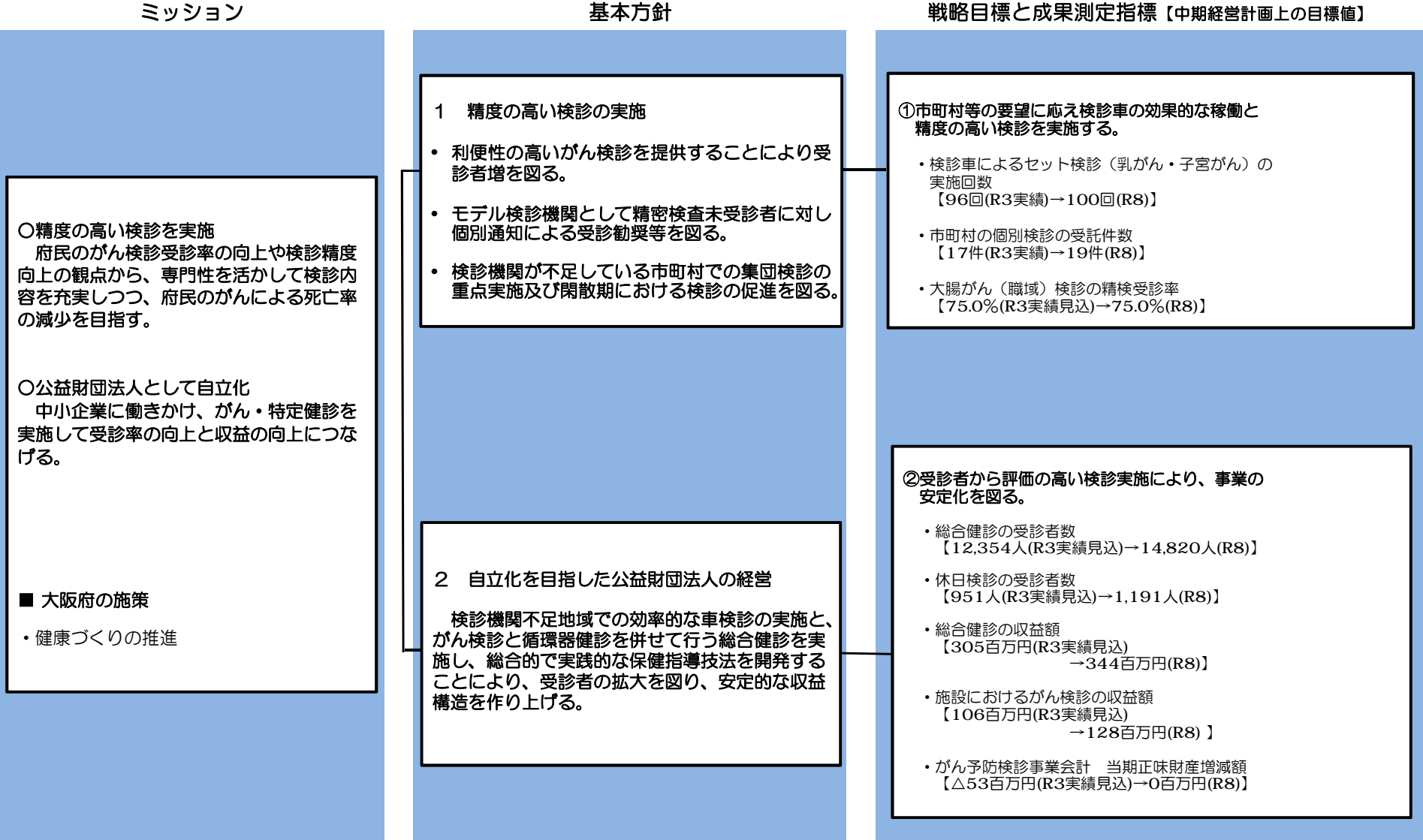


法人名	公益財団法人 大阪府保健医療財団
作成 (所管課)	健康づくり課

# ○ 経営目標設定の考え方



法人名	公益財団法人 大阪府保健医療財団
-----	------------------

○ 令和3年度の経営目標達成状況及び令和4年度経営目標設定表

I. 最重要目標(成果測定指標)												
戦略目標	成果測定指標	新規	単位	R3 ウエイト	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値 〔見込値〕	R4 目標値	R4 ウエイト	中期経営計画 (R4～R8)		R4目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合は、その理由も記載
										R4 目標値	最終年度 目標値	
② 受診者から評価の高い検診実施により、事業の安定化を図る。	総合健診の受診者数		人	35	16,160	15,600	×〔12,354〕	14,220	35	14,220	14,820	・中期計画では最終年度の目標値である14,820人を目指し毎年150人増としている。 ・R3目標は、コロナの影響と大規模団体検診を受託できなかったことなどにより、実績見込みが大幅に落ち込むこととなるが、R4年度は大規模団体検診の受託が見込まれるため、収支改善を見込むためにも、中期経営計画の目標値である14,220人を目指す。
法人経営者の考え方(取組姿勢・決意)										戦略目標達成のための活動事項		
最重要とする理由、 経営上の位置付け	<p>○当財団は、令和4年度をスタートとして第3期中期経営計画を策定すべく、内容の検討を進めているが、最重要とした「総合健診」は公益目的事業であるがん予防検診事業の事業収益のうち 約39% (令和3年度決算見込・収益の内最大) を占めており、第3期中期経営目標の達成に与える影響が大きい。</p> <p>○また、当財団の設立目的は、府民の死亡原因の上位を占めるがんと循環器の予防を目指した事業を推進することであるが、「総合健診」は、まさにこの目的に沿った事業であり、その推進は府民の健康の保持・増進に寄与するものである。</p>											
最重要目標達成のための 組織の課題、改善点	<p>○新型コロナウイルス感染症の猛威により社会に様々な影響があるが、受診者の皆様へ安全安心な検診業務を確保するため、</p> <p>① ソーシャルディスタンスを確保する。 ② 体温測定、手指消毒、マスクの着用を徹底する。 ③ 検査機器やドアなどのアルコール消毒を徹底する。 などの対策を強化している。</p> <p>○受診者数の多い大規模団体が毎年入札を実施しているが、新型コロナの影響でこれまで入札に参加していなかった検診機関が新たに参加しており、入札でいきなり低価格での札を入れたため、落札できないケースがあった。また、年々単価が低下している低価格での入札は経営に悪影響を及ぼすため、公益目的事業として健診の質(精度)を確保しつつ、一つの大規模団体に頼らない収益構造に転換していく。</p> <p>○新たな視点での増収を図るため、「緊急事態宣言終了後の対応方針」を定め、受診枠の拡大や受診受付人数を工夫するとともに、土曜検診の充実などを図り、安全安心の確保とともに、収益の確保へ向けて最大の努力を図る。</p> <p>○当財団では多くの団体の検診を受託し、団体の希望に応じた健診メニューを手作業処理しており、業務の効率化を図る必要がある。</p> <p>○施設構造が人間ドックのような検査項目の多い健診に対応しておらず、受診者が多くなると各所において待ち時間が発生するため、30分単位での受診者枠を設けきめ細やかな対応を行い、効率良く受診できるように改善した。</p>											
活動方針	<p>○第3期中期経営計画において、 〔事業方針〕</p> <p>(1) 大阪府のがん死亡率が高く全国で最低レベルにある中、大阪がん循環器病予防センター(以下「当センター」という。)は府民のがん検診受診率や精度管理の向上に寄与しがんの早期発見、早期治療につなげるため、これまでに培ってきた専門性を活かし、受診者ニーズに対応したサービスの充実を図るとともに、収支構造の改善に取り組む。</p> <p>(2) 府と協働して、地域の健康課題を明らかにし、府民の健康づくりに取り組むことにより、大阪府健康増進計画の実践に寄与する。</p> <p>を掲げている。</p>											

II. 設立目的と事業内容の適合性(事業効果、業績、CS)

戦略目標	成果測定指標	新規	単位	R3 ウエイト	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値 〔見込値〕	R4 目標値	R4 ウエイト	中期経営計画 (R4～R8)		R4目標設定の考え方 (数値の補換) ※累積数値による目標設定の場合 は、その理由も記載	戦略目標達成のための活動事項
										R4 目標値	最終年度 目標値		
① 市町村等の要望に応え検診車の効果的な稼働と精度の高い検診を実施する	検診車によるセット検診(乳がん・子宮がん)の実施回数		回	10	95	96	96	96	10	96	100	検診車の台数が限られる中、現状では検診日を増加させることは困難であり、現状の回数を維持する目標とする	・市町村が検診計画を作成する前に、実施可能であることのPRを行う。 ・午前中から子宮がん・乳がんのセット検診を実施することにより、受診者の増加を図る。
	市町村の個別検診の受託件数		市町村	10	15	16	17	17	10	17	19	現在契約している検診機関があり、委託先を変更してもらうことは非常に困難。現状と同じ17団体を目標とする。	・個別検診の意向のある市町村に対し、積極的な働きかけを行う。
	大腸がん(職域)検診の精検受診率(精検受診者数/要精検者数)		%	10	74.2	75.0	[75.0]	75.0	10	75.0	75	精密検診による早期発見は重要であり、受診率は、国が定める許容値の70%を上回る目標値である75.0%を目標としており、高水準での維持を目標とする	・当センター以外での受診状況を把握し、未受診者への受診勧奨を行うことにより、受診率を向上させる。
② 受診者から評価の高い検診実施により、事業の安定化を図る	休日検診の実施回数		回	10	24	24	—	—	—	—	—	—	—
	休日検診の受診者数	☆	人	10	(1,269)	-	(951)	999	10	999	1,191	土曜検診は月2回実施しており、これ以上の増加は人員確保ができないため、第3期中期経営計画案では受診人数を指標とする。	・土曜日の子宮がん・乳がん検診の実施、オプション検査の拡大について、市町村等へのPRを積極的に行う ・女性医師の確保に努める

III. 健全性・採算性(財務)、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上(効率性)

② 受診者から評価の高い検診実施により、事業の安定化を図る	総合健診の収益額		百万円	10	301	294	[305]	323	10	323	344	新たな視点で受診者の確保を行うことで、入札で単価の安い検診から、通常の施設検診価格の受診者に切り替えることにより、収益性の向上が見込まれるため中期経営計画R4目標値を目指す。	・人間ドック健診等収益率の高い総合健診(特定保健指導受診勧奨等)の増加を効果的な広報を実施することにより受診者数の増加を図り経営状況の改善につなげる。
	施設におけるがん検診の収益額		百万円	5	123	135	×[106]	122	5	122	128	新たな視点で受診者の確保を行うことで、入札で単価の安い検診から、通常の施設検診価格の受診者に切り替えることにより、収益性の向上が見込まれるため中期経営計画R4目標値を目指す。	・大阪市の住民検診をターゲットに効果的な宣伝を行う。 ・胃・大腸・乳・子宮及び肺がん検診受診者の増加を図り経営状況の改善につなげる。
	がん予防検診事業会計 当期正味財産増減額		百万円	10	△ 15	0	×[△53]	△ 33	10	△ 33	0	新たな視点で受診者の確保を行うことで、入札で単価の安い検診から、通常の施設検診価格の受診者に切り替えることにより、収益性の向上が見込まれるため中期経営計画R4目標値を目指す。	・新たな視点での増収を図るため、受診枠の拡大や受診受付人数を工夫するとともに、土曜検診の充実などを図り、安全安心の確保とともに、収益の確保へ向けて最大の努力を図る。 ・収益確保のための取組みとして、総合健診受診者数の増、休日検診の実施、オプション検査の拡大、午後検診枠の拡大、車検診(セット検診)の効率的運営を図る。

【凡例】

- ・☆はR4年度からの新規項目
- ・×は目標値未達成
- ・↓は前年度実績比マイナスの目標値
- ・〔 〕内の数値は、参考として記入した実績見込値
- ・( )内の数値は、当該年度の経営目標として設定していないため、参考として記入した実績値

### CS調査の実施概要

○令和3年度の実施結果

調査内容	実施方法	アンケート等対象者	対象者数	実施時期
大阪がん循環器病予防センターにおける健（検）診の満足度	受付で調査票を配布し、受診者が自書のうえ回収箱に投かん。	・施設検診受診者	550人	令和3年10月20日（水）～ 令和3年10月26日（火）

実施結果の主な内容	実施結果を踏まえた取組
<p>(1) 年齢</p> <p>➢ 50歳代、40歳代、60歳代の順に多く、全体の70.5%を占める 令和元年度から60歳代70歳代が拡大しており、受診者の高齢化が、見受けられる。</p> <p>(2) 性別 女性が64.2%を占める 子宮、乳がん検診や土曜検診(女性を対象)の充実により、女性比率が増したことが考えらる。</p> <p>(3) 受診した健(検)診名〔複数回答〕</p> <p>○大腸がん検診受診者が最も多く、受診者全体の47.2%を占め、これまでの受診動向と大差ない</p> <p>(4) 受診した理由〔複数回答〕</p> <p>➢ 毎年受診しているが最多で、受診者全体の45.8%を占める 「毎年受診」45.8%、次いで「会社等の指定」が34.7%であるが、大規模団体のがん検診が受託できなかったことから、団体のポイントが減少したと考えられる。</p> <p>(5) 健診（検診）スタッフの言動・態度</p> <p>○「満足」は90.8%で、令和元年度から1.7ポイント増加 「満足」90.8%、「ほぼ満足」7.0%で併せて97.8%を占め、毎回高い評価となっている。</p> <p>(6) 診察、健(検)診等の十分な説明</p> <p>○「満足」の割合が92.1%で令和元年度より1.8ポイント増加、毎回高い満足度。</p> <p>(7) 健診（検診）にかかった時間</p> <p>○「思ったより早く受診できた」の割合が49.9%で令和元年度より4.9ポイント増加 コロナによる影響で密を回避するための工夫が改善につながったものと考えられる。</p> <p>(8) 次回も当センターを受診したいと思うか</p> <p>○93.0%の受診者が「次回も当センターを受診したい」と回答</p> <p>(9) 当センターに対する要望、改善点について（自由記載）</p> <p>○記載内容の44.5%が「感謝・満足・励まし」と回答。</p>	<p>(結果を踏まえ実施した取組)</p> <p>・アンケート結果を職員に周知し、各所属において更なる改善点を協議し、改善できるものについては、直ちに対応した。</p> <p>(今後実施予定の取組)</p> <p>個別に記述された意見等を分析し、改善点に結び付けていくとともに、引き続き満足度を高めるよう努力する。</p>

○令和4年度の実施方針

調査内容	実施方法	アンケート等対象者	対象者数	実施時期
大阪がん循環器病予防センターにおける健（検）診の満足度	受付で調査票を配布し、受診者が自書のうえ回収箱に投かん。	・車検診受診者	500人	令和4年10月（予定）

■ 目標値未達成の要因について

法人名	公益財団法人 大阪府保健医療財団
-----	------------------

{ 1 }

成果測定指標	単位	R 3 年度目標値	R 3 年度実績値	目標値との差
総合健診の受診者数	人	15,600	12,354(見込)	△ 3,246

未達成の要因		要因分析（要因と考える根拠）						要因分析を踏まえた今後の対応	
①	大規模団体検診を受診できなかったこと	大規模検診については、落札に向けて努力したが、これまでに入札に参加しなかった事業者が2社あり、低価格で参加したため、落札できなかった。						<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模検診の落札対象が3社から4社に変更されたことにより落札しやすくなったため、落札できる価格を想定し入札し、令和4年度は落札できた。</li> </ul>	
	項目名	大規模団体検診受診者数	R3当初想定値	2,000人	実績値	0人	差		△2,000人
②	新型コロナウイルス感染拡大による受診控え	新型コロナウイルスで度重なる緊急事態宣言とまん延防止等重点措置の影響で、受診控えがあった。						<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪市の住民検診をターゲットに効果的な宣伝を行う。</li> <li>・胃・大腸・乳・子宮及び肺がん検診受診者の増加を図り経営状況の改善につなげる。</li> <li>・市町村の個別検診の受託の確保</li> <li>・子宮・乳がん検診のセット検診の拡大</li> </ul>	
	項目名	総合健診の受診者数	R3当初想定値	15,600人	実績値	12,354(見込)人	差		△3,246人
③									
	項目名		R3当初想定値		実績値		差		

■ 目標値未達成の要因について

法人名	公益財団法人 大阪府保健医療財団
-----	------------------

[2]

成果測定指標	単位	R3年度目標値	R3年度実績値	目標値との差
施設におけるがん検診の収益額	百万円	135	106	△ 29

①	未達成の要因	要因分析（要因と考える根拠）						要因分析を踏まえた今後の対応
	大規模団体検診を受診できなかったこと	大規模検診については、落札に向けて努力したが、これまでに入札に参加しなかった事業者が2社あり、低価格で参加したため、落札できなかった。						
項目名	大規模団体検診受診収益	R3当初想定値	26	実績値	0	差	△ 26	
②								
項目名		R3当初想定値		実績値		差		
③								
項目名		R3当初想定値		実績値		差		

■ 目標値未達成の要因について

法人名	公益財団法人 大阪府保健医療財団
-----	------------------

[3]

成果測定指標	単位	R3年度目標値	R3年度実績値	目標値との差
がん予防検診事業会計 当期正味財産増減額	百万円	0	△53	△53

未達成の要因		要因分析（要因と考える根拠）						要因分析を踏まえた今後の対応
①	大規模団体検診を受診できなかったこと	大規模検診については、落札に向けて努力したが、これまでに入札に参加しなかった事業者が2社あり、低価格で参加したため、落札できなかった。						<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模検診の落札対象が3社から4社に変更されたことにより落札しやすくなったため、落札できる価格を想定し入札し、令和4年度は落札できた。</li> </ul>
	項目名	大規模団体検診受診収益	R3当初想定値	38	実績値	0	差	
②	新型コロナウイルス感染拡大による受診控え	新型コロナウイルスで度重なる緊急事態宣言とまん延防止等重点措置の影響で受診控えがあった。						<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪市の住民検診をターゲットに効果的な宣伝を行う。</li> <li>・胃・大腸・乳・子宮及び肺がん検診受診者の増加を図り経営状況の改善につなげる。</li> <li>・市町村の個別検診の受託の確保</li> <li>・子宮・乳がん検診のセット検診の拡大</li> </ul> これらの取組みにより経費に見合う収益の向上を目指す。
	項目名	がん予防検診事業収益	R3当初想定値	851	実績値	787(見込)	差	
③								
	項目名		R3当初想定値		実績値		差	

■ 成果測定指標変更（廃止）希望の理由について

〔1〕

●変更前

R3年度の 成果測定指標	単位	R3年度の 目標値
休日検診の実施回数	回	24

●変更後

R4年度の 成果測定指標	単位	R4年度の 目標値
休日検診の実施人数	人	999

成果測定指標の  
変更（廃止）を  
希望する理由

休日検診は、平日は検診が受けられない女性のために、女性医師・技師で対応する乳がん・子宮がん・大腸がん検診であり、現在は、月2回、年間24回実施している。  
そのため、女性職員の出勤の確保が必須であるが、出勤者はすべて代休により時間外の追加経費などが発生しないようにしているため、これ以上実施回数を増やすことができない。  
上記の理由により、実施回数から実施人数に指標を変更する。

〔2〕

●変更前

R3年度の 成果測定指標	単位	R3年度の 目標値

●変更後

R4年度の 成果測定指標	単位	R4年度の 目標値

成果測定指標の  
変更（廃止）を  
希望する理由

--	--



法人名	公益財団法人 大阪府保健医療財団
-----	------------------

■ 令和3年度実績比 マイナス（現状維持）目標の考え方について

〔1〕

成果測定指標	単位	R3年度の実績値(見込値)	R4年度の目標値
検診車によるセット検診（乳がん・子宮がん）の実施回数	回	96	96

<b>マイナス (現状維持) 目標の考え方</b>	<p>市町村に次年度の受診希望調査を行い、実施回数、実施時期を調整しているが、検診車の台数が限られる中、現状では検診日を増加させることは困難であり、現状の回数を維持する目標とする。</p> <p>しかしながら、セット検診はより効率性を高めることで増加をめざしており、令和5年度以降は1回ずつ増加させる予定。</p>
-----------------------------------	---

〔2〕

成果測定指標	単位	R3年度の実績値(見込値)	R4年度の目標値
市町村の個別検診の受託件数	市町村	17	17

<b>マイナス (現状維持) 目標の考え方</b>	<p>市町村は現在契約している検診機関があり、委託先を変更してもらうことは非常に困難であるが、当財団の強みをアピールしながら、アプローチをしているところ。そのため、令和8年度までの中期経営計画期間に2団体の増を目標としており、令和4年度については、現状と同じ17団体を目標とする。</p>
-----------------------------------	--

■ 令和3年度実績比 マイナス（現状維持）目標の考え方について

〔3〕

成果測定指標	単位	R3年度の実績値(見込値)	R4年度の目標値
大腸がん（職域）検診の精検受診率 （精検受診者数/要精検者数）	%	75.0	75.0

<p>マイナス （現状維持） 目標の考え方</p>	<p>コロナの影響で、受診控えも予想されるが、精密検診による早期発見は重要であり、受診率は、国が定める許容値の70%を上回る75.0%を目標としており、高水準での維持を目標とする。</p>
-----------------------------------	--

〔4〕

成果測定指標	単位	R3年度の実績値(見込値)	R4年度の目標値
/			

<p>マイナス （現状維持） 目標の考え方</p>	/		
-----------------------------------	---	--	--